

# 議会だより

にしあいち No.119

2012.10.29

発行：稲島県西会津町議会

編集：議会広報特別委員会



- 9月議会定例会の内容は・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 2
- 平成23年度決算を認定!!・・・・・・・・・・・・・・・・ 2~5
- 旧奥川小学校改修経費などの補正予算を可決・・・・ 6
- 常任委員会事務調査報告・・・・・・・・・・・・・・ 7
- ここが聞きたい！一般質問10人が登場・・・・・・・・ 8
- 第8回議会臨時会報告・・・・・・・・・・・・・・・・・・ 10
- 多方面で活躍の婦部員野子さんにインタビュー・・・・ 14

声援が後押し（野沢保育所運動会）

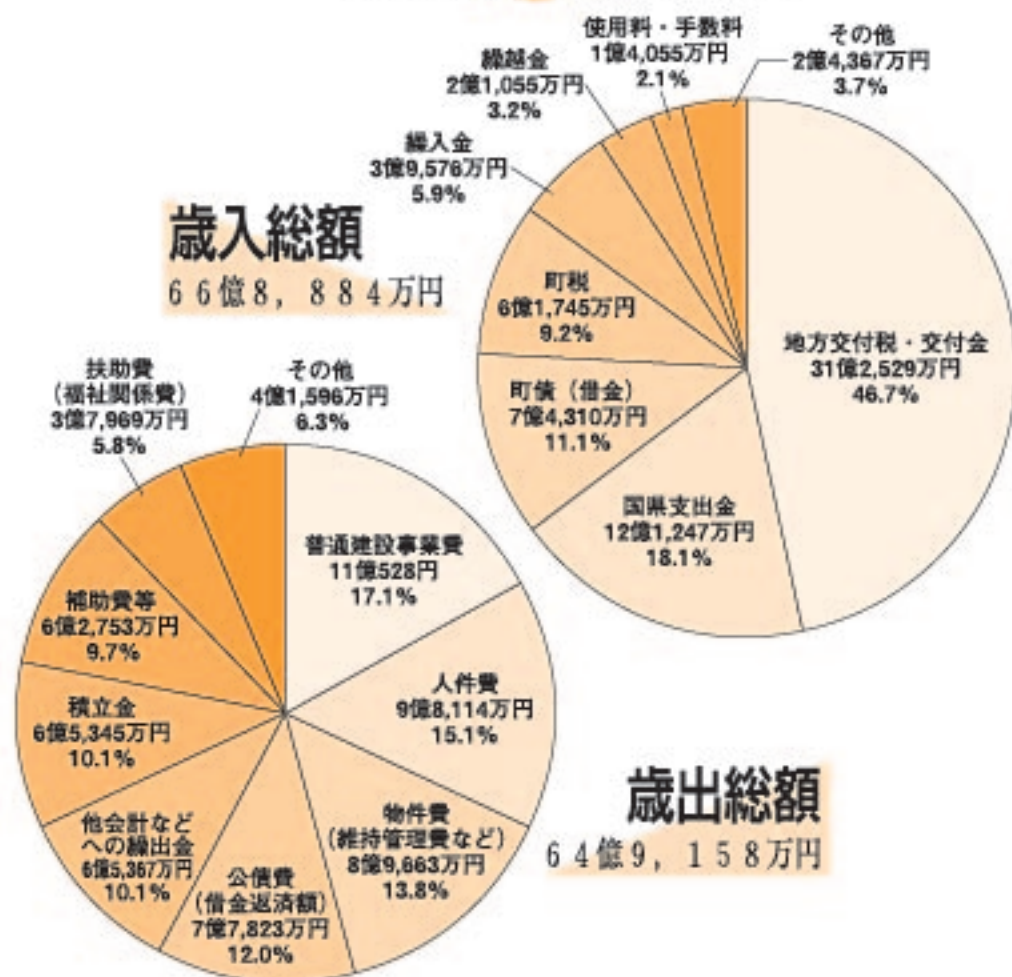
# 平成23年度決算

9月定例会

一般会計と特別会計の歳出合計 93億8,101万円

水道事業会計歳出合計 1億4,320万円を認定!!

## 一般会計決算の内訳



平成24年9月議会定例会を9月7日から14日まで、8日間の会期で開きました。提出された議案は、平成23年度決算、一般会計等補正予算、町特別功労表彰者の決定の同意、町教育委員の任命の同意など31件で、すべて原案のとおり可決しました。一般質問では、10人の議員が登壇し、町の考えや対応を問いただしました。

## 決算額一覧表

会 計 名	決 算 額		収入未済額 (税金・使用料などの滞納額)	決算の認定 採決の結果	
	歳入(収入)	歳出(支出)			
一 般 会 計	66億8,884万円	64億9,158万円	5,139万円	賛成7、反対5	
特 別 会 計	工業団地造成事業	2万円	0万円	0万円	全員賛成
	商業団地造成事業	1,692万円	0万円	0万円	"
	住宅団地造成事業	723万円	651万円	0万円	"
	下水道施設事業	2億2,758万円	2億2,573万円	75万円	"
	農業集落排水処理事業	9,834万円	9,576万円	264万円	"
	個別排水処理事業	5,231万円	5,070万円	36万円	"
	後期高齢者医療	1億92万円	1億87万円	0万円	"
	国民健康保険事業勘定	10億5,219万円	10億1,460万円	4,220万円	"
	診療施設勘定	4億2,703万円	3億8,073万円	0万円	"
	介護保険	9億4,595万円	9億2,608万円	69万円	"
簡易水道等事業	9,093万円	8,845万円	199万円	"	
合 計	97億0,826万円	93億8,101万円	1億2万円	—	
本町財産区特別会計	44万円	9万円	0万円	全員賛成	
企 業 会 計 名	決 算 額		水道料の滞納額	決算の認定 採決の結果	
	総収益	総費用			
水道事業(収益的収支)	1億4,539万円	1億4,320万円	567万円	全員賛成	

## 監査委員の意見



新井田大 代表監査委員

### 決算審査

決算書類等の書類は、法令で定められたとおり作成されていた。算出された数値も誤りはなかった。

また、各基金の運用及び管理についても関係諸票などと符合しており、誤りはなかった。

予算の執行は、おおむね適正な執行である。

平成21年度から税等徴収対策本部会議を庁内に設置し、税や使用料等の徴収に努め、収入未済額は年々減少傾向にあるが、未だに1億円を超えている。このことは、財政運営に影響があると思われるので、引き続き努力と工夫が必要である。なお、徴税事務に関しては法令等に則り、厳格かつ適正な事務処理を行うこと。不納欠損額は、その処分の対象は全て各法に規

定する時効に該当しており、金額に誤りはなかった。預貯金等の差押えにより未納額の減少に努めているが、今後は換価できる財産の差押えなど税法に基づき適正に処理され、不納欠損処分額が極力少なくなるよう対応されたい。

財政調整基金は、今後、小学校建設などの事業を控え将来負担を考慮すると、年度末残高が増えていることは、財政運営上、好ましいことである。

### 平成23年度決算における数値あれこれ

Q：町の借金は？

A：113億1,906万円  
(前年度113億9,892万円)  
※上記金額のうち、交付税で措置される分を除いた実質負担額は50億5,962万円です。

Q：町の貯金額(財政調整基金)は？

A：9億7,224万円  
(前年度8億5,077万円)

Q：未収金の合計額は？

A：1億569万円  
(前年度1億1,765万円)

Q：実質公債費比率(年度ごとの借入金返済額が財政規模の何%を示す値)は？

A：15.3%  
(前年度16.2%)

※25%以上だと要注意。

Q：将来負担率(実質的な借金等の負担が財政規模の何%を示す値)は？

A：118.1%  
(前年度127.1%)

※350%以上だと要注意。

## 決算について問う

### ■一般会計

青木照夫議員  
線量計等緊急整備支援事業の内容は。

県の補助事業で、空間線量を測定するサーベイメーター15台、個人の積算線量計300台を購入した。サーベイメーター

は各種団体に、個人線量計は妊婦や0歳から15歳までの希望者に昨年12月から貸し出しを行っている。なお、サーベイメーターは13団体に、個人線量計は約100名に貸し出しを行った。

長谷沼清吉議員

①例年より予算の流用の件数が多いようだが、また、全く執行されていない予算もあるが。

②以前に生活援助貸付金は債権放棄とすべきと質問したが、その後どのようにに検討されたか。

③平成23年度の新規事業である集落支援員制度、町内企業支援補助金及びご当地ナンバーに関する評価と反省は。

④東日本大震災の検証と反省を記録に残すということであったが、その進捗状況は。

⑤ケーブルテレビ高度化第2期整備工事が、設計書どおりの工事とならなかったことに対して、町、設計監理業者、施工業者はどのような責任をとったか。

また、この件に関する監査委員の見解は。



町が貸し出しているサーベイメーターと個人線量計

### ① 流用は、やむを得ず、

予算計上の趣旨を逸脱しない範囲で流用をさせていただいてはいる。あくまでも例外的な対応であり、今後、流用についてはなくしていきたい。

執行されていない予算は、何かあったときに対応できるようにと計上している予算もあり、最終的にそういった予算は残る形になる。

### ② 生活援助貸付金は、

ここ数年借入希望はなく、その役割は終えたのではないかと考えるが、以前借入されたかたから数件の返済をいただいております。現在は債権回収をしている段階であるので、債権債務の額が確定した段階で債権放棄の手続きをとりたい。

### ③ 集落支援員制度は、

初めての事業で町も集落支援員も手探りの状態であった。集落の思いを全て汲み入れることができなかつたかという点、今後検討しなければいけない部分

もあると思うが、集落からは大変感謝されている。

### ③ 町内企業支援補助金

は、150万円の予算を計上していたが、支出額は46万円であった。町としては十分な周知が足りなかつたと反省している。

今後、企業訪問等も継続し新たな企業支援策も検討していく。

### ③ 町民のみなさん

は、町の活性化を目的に導入したので、もっとPRをし、町民のみなさんに広く着けていただけるとよい。

④ 東日本大震災の記録は、役場内で編集委員会を立ち上げ、9月まで2回の委員会を開催し、各

課で持っている資料等の収集作業を行っている。早期に取りまとめ、配ることができるように進めている。

### ⑤ ケーブルテレビ高度

化第2期整備工事の工事は、設計監理業者及び施工業者には全ての工事が終了した後に処分等

を検討したい。町職員については、町長より処分を受けている。

### ⑤ 議会の議決を得て行

う事務・事業は、計画あるいは設計どおり着実に進め、完成・完了することが大原則である。

途中で変更が生じる場合は、その理由が合理的であり、多くの町民が納得できる内容でなければならぬ。

町民の福祉の向上に大きく寄与することが大切な視点である。

### 荒海清隆議員

地方消費税交付金の使われ方は、また、社会保障と税の一体改革により

課で持っている資料等の収集作業を行っている。早期に取りまとめ、配ることができるように進めている。



工事ミスがあったケーブルテレビ高度化第2期整備工事

消費税が増税されるが、そのことが地方に及ぼす影響はあるか。

地方消費税交付金の使用目的は一般財源扱いであり、特に使用目的はない。

消費税の増税は、基本的に社会保障に充当するといふことであるので、

各都道府県、市町村の社会保障の活動に充当される。本町にとってもいろいろな面で効果、影響等

はあると思われる。

猪俣常三議員

地方交付税が当初予算より多く交付されているが、原発事故の賠償によるものか。

震災関連として4138万2000円ほど特別交付税に算入されている。原発事故の賠償というよりは、その影響緩和、風評被害の払拭などに対し、特別交付税が交付されている。



国際芸術村の積極的な運営が望まれる

清野佐一議員

ふるさと応援寄附金が大きく伸びているが、意図的に努力されたようなことはあるのか。

昨年度は大災害が続いて発生し、町のために使っていたきたいということ、さまざまな寄附をいただいたためである。

青木照夫議員

国際芸術村の運営状況は。

長谷川義雄議員

NPOに業務を委託しながら、芸術家の招致活動、芸術を通じた地域との交流やイベントを通じた地域の活性化、公募展などの活動を行っている。

清野佐一議員

イメージキャラクターPR事業の実績は。

ゆるキャラ関係の大きなイベントに参加し、PR活動を行ってきた。

長谷川義雄議員

インターネット事業費のサーバ管理手数料は、毎年同額なのか。

5年間、現在の契約が継続される。

三留正義議員

路線価評価業務委託をされているが、全体的に評価額の変動はどうなっているか。

路穂信吾議員

路線価評価業務委託は、評価替えの前年度に行う作業であり、実際の評価替えは24年度に行うこととなるが、総体的に価格は下落となる。

鈴木満子議員

高齢者配食サービスの利用者数は。

週40食から50食程度の利用がある。

清野佐一議員

学力向上推進事業の内容は。

学力テストにかかる経費が主なものである。

討 論

原案に反対

長谷川清吉議員

平成23年度は、財政の指数が全て好転をした。収入未済額や不納欠損額が減ったことは大いに評価をしているが、次の3点で認定することができない。

一つは危機管理に對してである。危機意識に欠けている。

二つ目は税の事務である。職員の仕事の体制が機能していない。

三つ目はケーブルテレビ高度化事業第2期整備工事である。なぜ工事をした業者と新たに随意契約を締結するのか。

決算は、認定されてもされなくても変わりはないが、町にいい仕事してもらいたいので、議会が悪いことは悪いと意志を示すべきである。

清野佐一議員

平成23年度の各種事業は、評価するものが大であるが、町長の政治姿勢

賛成

伊藤一男議員

昨年は災害の多い年であったが、例年の事業に加え、各種事業を実施している。特に生活環境づくり支援事業においては、地域経済の活性化につながる事業であった上に、町民の要望により増額補正をして対応したことは、町民の目線に立ち、町民の声を反映させた事業であった。

原案に賛成

予算の執行は問題なく、監査委員の報告にも誤りはないと報告されている。

賛成7、反対5で認定

特別会計

工業団地造成事業

長谷川清吉議員  
工場誘致以外の活用を考えは。

農業集落排水処理事業

五十嵐忠比古議員  
基本的には工場誘致に努めるが、それ以外の方策も今後検討する。

加入率の低い地区に對し、どのような加入促進策をしたか。

チラシを配布し、加入促進に努めてきた。

介護保険

長谷川清吉議員  
保険料未納はペナルティーを受けることになるが、不納欠損処理はその世帯のかたに説明をし、了解を得た上で手続きをしているのか。

督促通知の送付時に、保険料の延滞が継続すれば、介護サービスを受ける際に自己負担額が高くなることを説明している。

# 旧奥川小学校改修費などの補正予算を可決

## ■一般 会計

奥川支所、公民館分館、診療所の移転を目的に、旧奥川小学校を改修する集落活性化推進事業と地域経済の活性化を目的とした地域雇用再生・創出モデル事業に要する経費、さらに本年7月の豪雨による災害復旧事業に要する経費や10月から実施される18歳以下の医療費を無料化とする子育て医療費サポート事業などの経費、合わせて2億7201万4000円を増額する補正予算案を原案のとおり全会一致で可決しました。



改修予定の旧奥川小

## 【質疑】

**多賀剛議員**  
地域雇用再生・創出モデル事業の内容は。

交流人口の拡大と地域経済の活性化の一環として、交流自治体や首都圏の物産展への出展や物産品の販売を行っているが、物産品の流通システムを構築するための調査業務を委託し、雇用の拡大を図るものである。

**青木照夫議員**  
線量計等緊急整備支援事業で約200万円補正計上されているが、内容は。

昨年度に購入したサーベイメーターと電子式積算個人線量計の点検整備にかかる経費を補正計上した。

## 三留守議員

農地・水保全管理支払交付金事業の経費が大幅に減額されている理由は。

今年度から第2期事業がスタートしたが、スタートにあたって、今後5年間守っていく対象農地を確認した結果、対象農地が第1期に比べ減少になったためである。また、各集落で行っていた点検な重点事業を一つの水系として5年間守っていく事業であるスーパー重点事業を、県が平成24年度は新規採択しない方針となったためである。

**清野佐一議員**  
再生可能エネルギー可能性調査事業では、何を調査するのか。

弥平四郎に向かう途中の砂防ダムで、小水力発電が可能かどうかを調査する。

## 長谷沼清吉議員

本年度の地方交付税の今後の見込みは。

普通交付税は今回で決定であり、増減の見込みはない。特別地方交付税は、災害等の被害もなく、

昨年度よりは減額になると考えている。

## ■国民健康保険特別会計

事業勘定では国保税率改正に基づく本算定に伴う所要額、施設勘定では前年度からの繰越金の確定や医療用機器器具費など、合わせて2億684万円を増額する補正予算案を原案のとおり全会一致で可決しました。

## 【質疑】

**渡部真理子議員**  
医療用機器器具類の購入は、新規採用の医師の分か。

新規医師の分ではなく、西会津診療所の往診用の血液分析器などを補正計上した。

## ■介護保険特別会計

前年度の決算の確定による繰越金の精算に伴う所要額や介護保険財政安定化特例基金を造成するための所要額など、2332万円を増額する補正予算案を原案のとおり全会一致で可決しました。

## 条例制定・改正

### 10月からスタート

### 18歳までの

### 医療費無料化

福島県子どもの医療費助成事業補助金交付要綱が8月に制定され、10月1日から施行されることに伴い、0歳から18歳までの医療費を無料化とするため、町子育て医療費サポート事業条例の一部改正条例及び町国民健康保険条例の一部改正条例を原案のとおり全会一致で可決しました。

また、県からの交付金を受け、介護保険財政安定化特例基金を造成するための基金条例や東日本大震災復興特別区域法の規定による認定を受けた復興推進計画で定められた区域（町工業団地、野沢地区、群馬地区）で、一定の事業用に供する施設を設置した事業者に対して、その固定資産税を課税することとなった年度から5年間、固定資産税を免除する税特別措置条例の一部改正条例を原

案のとおり全会一致で可決しました。

この他、町防災会議条例の一部改正条例、町災害対策本部条例の一部改正条例を原案のとおり全会一致で可決しました。

## 教育委員会委員の任命に同意

任期満了に伴う教育委員の任命について、次の3人のかたを全会一致で同意しました。

- 井上祐悦さん（道目）
- 櫻千代栄さん（さやかりが丘）
- 渡部真理子さん（5町内）

## 町特別功労表彰者の決定に同意

町特別功労表彰者の決定について、次の4人のかたを全会一致で同意しました。

- 故長谷川徳喜さん（松尾）
- 江川貞一さん（牧）
- 清野佐一さん（下小島）
- 鈴木洋さん（軽沢）

## その他の議案

西会津診療所の太陽光発電装置の設置、町道上野尻村中線の消雪施設の設置の工事請負契約の締結2件を全会一致で可決しました。

### 保育所の運営(町内・南会津町)

南会津町では、老朽化した3つの保育所を統合し、びわのかけ保育所を開所しました。この保育所は木造で、児童のイスや机も地元の木材を使って作られており、また、太陽光発電によるクリーンエネルギーを利用した環境にやさしい施設として整備され、30人の職員により、延長保育や一時保育、障がい児保育の実施など、135人の児童の保育を行っています。

本町では、4つの保育所を開所していますが、保育の改善・充実に向けて、次の対応を図る必要があると考えます。

①老朽化が進んでいることから、児童の安全確保のため、適切な補修等に留意すること。

②各保育所で入所児童数の一定の均衡化に配慮すること。

③野沢保育所の駐車場を拡張すること。

④4つの子育て支援策(保育所・一時保育・子育てサークル・学童保育)が行われている芝草保育

所では、それぞれの機能發揮と児童の安全確保のために、保育スペースの確保等に努めること。

### 養育施設の調査(町内・会津美里町)

会津美里町では、廃校となった校舎に新鶴民俗資料館を開設し、資料の保管・展示を行っています。

本町でも、小学校の廃校施設等を利用した複合的な展示施設を開設し、旧仲間寄宿舎に保管されている資料の整理及び展示・活用が望まれます。



## 総務常任委員会

調査実施日：平成24年7月19日、20日、8月8日

# 常任委員会事務調査報告

## 経済常任委員会

調査実施日：平成24年7月25日、26日、8月8日

### 遊休農地の活用(下郷町)

下郷町の耕作放棄地は、約1000㌥で、その大部分は山間地域です。また一部地域では、基盤整備済みの畑地約200㌥が耕作放棄されています。

農地所有者や小規模農業者では解消が図られなかった遊休農地が、大規模経営を目指す農業生産法人により再整備され、道路沿線の景色が大きく変貌しました。

不況による工場閉鎖や建設業の廃業により、失業者が増加しましたが、

農業生産法人の再生作業やプロックリーの作付け及び収穫作業等は、雇用機会の拡大になっています。

本町では2115㌥の農地のうち620㌥が遊休農地となっています。全ての遊休農地を解消することは困難ですが、町中心部に近い整備された土地は、農業生産法人の活用や滞在型貸農園としての利活用等により、一石二鳥の効果も考えられることから、町に一考されることを望みます。

### 豪雨災害の復旧状況等(町内)

昨年7月の豪雨災害の復旧工事、町道下野尻端村線の改良工事、滝坂地すべり対策事業そして銚子の口の被害状況について調査を実施しました。

農地災害復旧は、農地40カ所で52・5%、農業施設34カ所で52・9%の復旧率でした。

銚子の口は、現地の早急な復旧と安全確保に努め、東屋は再度同じ被害に遭わないように、設置場所の検討を望みます。

# 町政のここが聞きたい 議員は問う 10人が登壇

## こんな質問をしました（質問順）

○猪俣常三議員

- ①町地域防災計画に放射能災害対策計画の考えについて
- ②光ケーブル高度化利用にかかる課題について
- ③防災無線の今後のビジョンについて

○伊藤一男議員

- ①西会津高校存続の取り組みについて
- ②旧小学校廃校後の利活用について

○長谷川義雄議員

- ①エネルギー政策について
- ②学校教育について

○渡部憲議員

- ①いじめ問題について
- ②野沢町内の流雪溝について

○多賀剛議員

- ①空き家・空き店舗対策及び危険家屋（腐屋）対策について
- ②ICTを活用したまちづくり（高速無線通信環境の整備）について
- ③ICTを活用した防災対策について

○鈴木満子議員

- ①あいづダストセンターの汚泥搬入の実態は
- ②教育費の保護者負担の軽減について
- ③小学4年から18歳までの医療費無料化について

○荒海清隆議員

- ①水・土・里事業について
- ②再生可能エネルギーの推進の考えは

○清野佐一議員

- ①町政への取り組みについて
- ②農政について

○武藤道廣議員

- ①CATV高度化事業第2期工事と上谷地区の工事契約について
- ②広域基幹林道大山美坂高原線の開設促進期成同盟会における町長の発言の真意は
- ③デマンドバス交通・運行について

○長谷沼清吉議員

- ①町民参加型健康まつり「健康がいちばん」について
- ②空き家対策について
- ③早魃による被害について

問 水・土・里事業（西会津方式）は、地域の農業や環境を守るために良い施策であるが、各自治区ではかなりの負担になっているところがある。町は緊急雇用事業等で助成できないか。

水・土・里事業が始まる前は、集落が行う農道等の補修や整備は町が原材を支給し、賃金や機械等の経費は自治区が負担していたが、本事業を活用することで、事業費全額が交付されることとなり、自治区にとって負担軽減につながっている。緊急雇用創出基金事業は、それぞれの事業目的に沿った事業内容を行っており、事業目的以外への従事はできないことになっている。

問 水・土・里事業に緊急雇用事業を活用できないか

答 緊急雇用事業は目的以外への従事はできない

荒海清隆議員

問 再生可能エネルギーの推進が求められている。町は再生可能エネルギーの展望をどのように考えているか。

事業所、農業施設等への町の補助制度を来年度から制度化を図る。また、太陽光発電、太陽熱利用、小水力発電、風力発電、バイオマス活用、雪氷熱利用など幅広い分野で事業推進を図っていく。

「町再生可能エネルギー導入推進計画」を近日中に策定し、個人住宅や



水・土・里事業に助成を



問 再生可能エネルギー事業での補助制度は

答 来年度から導入を図りたい

長谷川 義 雄 議員

問 再生可能エネルギーを設置する世帯に、町独自の補助制度を設ける考えはないか。

本町の再生可能エネルギーの推進方針を定めた「町再生可能エネルギー導入推進計画」の策定を現在進めており、太陽光発電、小水力発電、風力発電、バイオマス利用、雪氷熱利用などの事業を盛り込み、広く事業を推進していくこととした。再生可能エネルギー事業に対する町の補助制度は、計画策定作業の中で検討しており、来年度から導入を図っていきたい。

問 遊休農地に菜種を作付けして油を取り出し、町民バスのエネルギーに利用する考えはないか。



再生可能エネルギー事業での町独自の補助を

遊休農地を利用し、菜種を栽培して油にすることは、現在考えていない。

問 高速無線通信環境の整備を推進せよ

答 計画的に整備を進める

多 賀 剛 議員

問 本町は、周辺市町村に先駆けて通信基盤の整備に力を入れてきた。しかし都市部に比べ、歴然とした格差があるのが、高速無線通信環境である。公共施設等にこの環境を整備することはできないか。

高速無線通信設備は、本町ではロークラスインと民間店舗2施設に設置さ



高速無線通信環境の整備が望まれる

れている。町のケーブルテレビ加入施設にあつては、大きな整備費用を要しないことが分かったことから、道の駅、さゆり公園等の観光客の多く集まる施設から設置を検討していく。

問 急激な過疎化が進む中、今後ますます空き家・空き店舗が増えてくることは明らかである。また長期間空き家となり放置された家は、老朽化が進み危険な状態にあるものもある。現在、有効利用できるものの対策はどうなっているか。危険

問 危険家屋の対応・対策はどうなっているか。

危険家屋は、所有者等に対し適切な管理を行うよう指導するとともに、空き家対策に関する条例の制定なども検討する。

空き家は、被災者への紹介、県や町のホームページへの掲載やUターン・イターン説明会での情報提供を行い、昨年度と今年度に数件の入居があった。

空き店舗は、商工会など関係機関と連携を図り、活用策等を検討する。

問 全国的な問題である「いじめ」への対策は

答 教育委員会、学校、家庭が連携をして

渡部 憲議員

教育委員会、学校、家庭が連携して、早期解決に向けて取り組んでいる。

問 野沢町内を流れる流雪溝について、再度質問をする。流雪溝の不具合、砂詰まり、ゴミ詰まり、水量調整板を今年度に改修することであったが、対応と進捗状況を伺う。

流雪溝に堆積した土砂への対策は、農業用としての用水が完全に不用品となる9月末から作業に入りたい。

水量調節板は、克雪委員会と協議・調査して、支障のある箇所は降雪前に改修する考えである。

問 全国各地において「いじめ」を苦にした児童・生徒の自殺が相次ぎ、憂慮すべき状況である。本町における「いじめ」の実態と町教育委員会としての対策を伺う。

本町では「いじめ」は見られないが、児童・生徒同士のトラブルや問題行動等が見られた場合には、直ちに教育委員会に報告をいたすとともに、



流雪溝に堆積した土砂の撤去

問 ケーブルテレビ工事ミスへの見解は

答 業者の発注ミスが原因である

武藤道廣議員

問 ケーブルテレビ高度化事業第2期整備工事と上谷工区の工事契約について

①第2期工事の2回の工事ミスの原因と、町の対応と反省はどのようになされたのか。

②工事ミスが続いたことに対する町長の見解を伺う。

③上谷工区工事に、第2期工事のミスがどのように評価、判断され隨意契約となったのか。

①第2期工事の工事ミスは、業者の発注ミスが原因であり、手直し工事は、十分な強度計算を確認し対応した。

加入者宅への引込み工事の工事ミスは、関係業者の責任者を呼び、原因の解明と注意指導を行い、手直しをした。

②2回の工事ミスにつ



ケーブルテレビ高度化事業第2期工事

いては、遅延のないように対応した。工事ミスへの対応の手順が大切である。

③上谷工区の隨意契約は、第2期工事の継続工事のためである。評価は工事終了後に町としての判断をする。

問 デマンドバス運行の改善策を伺う。

アンケート等により、多くの町民の声を聞き、先進地の事例なども参考に、運行体系や予約方法の改善を図る。

**問** 地域防災計画に放射能災害対策を計画する考えは

**答** 国から基準が示されたら計画に盛り込む

**問** 放射能災害を想定した放射能災害計画は、重要なことと思うが町の考えは。

**答** 緊急時迅速放射能影響予測ネットワークシステム、いわゆるスピーディは、県防災情報システムにより、町に情報が入ることになっている。有事の際には、町民へ迅速な情報伝達が可能である。

また、町民の安全・安心を確認するための空間線量調査や水質検査の実施と公表、風評被害対策としての農林産物の検査及び各種イベントへの参加、外部被曝対策としての放射能測定器の貸し出しなど、放射能対策に取り組んでいく。

**問** 光ケーブル高度化利用にかかる課題について、ケーブル光ファイバ

猪俣 常三 議員

ーを利用する際、どのような規制を適用しているか。また、空き芯（線）の有償で貸し付けしている。貸し付け条件は、情報通信の格差是正や町民の利便性の向上のための事業に限定している。

町光ファイバーケーブルの貸し付けに関する要綱に基づき、個別案件ごとに契約書を取り交わし、



公共施設等に設置されているモニタリングポスト

**問** 西会津高校存続の取り組みは  
**答** 全力で取り組んでいく

伊藤 一男 議員

**問** 西会津高校の今年度の入学者は29名で、2年連続で募集人員80名の半数を下回る状況となっている。県教育委員会によると、入学者が3年連続で定員の半数を下回った場合、分校化や統合の対象となる。この高校存続の危機の中、町としてどのような取り組みをす



西会津高校の存続を

西会津高校活性化対策協議会では、西会津中学校生徒と保護者の皆さんにアンケートを実施した。今後、近隣中学校を訪問し、西会津高校のPRを実施する。

町としては、現行の支援策に加え、効果的で新たな支援策を検討し、西会津高校が存続できるよう全力で取り組む。

**問** 廃校に伴う旧小学校施設の今後の利活用は、各地域の活性化につながる大事なところと考えますが、その利活用状況、計画などについて町の考えを伺う。

旧野沢小、現在の西会津小は、新校舎への移転後、役場庁舎及び公民館を移転する計画とした。

旧尾野本小校舎及び講堂は、耐震性が低く公益的な施設として利用が難しいことから、解体撤去を視野に検討している。

旧群岡小は、現時点で活用計画はない。旧新郷小は、隣接の国際芸術村との一体的な利活用という観点から、民俗・歴史資料の展示・保存施設として活用を検討している。

旧奥川小は、奥川支所及び公民館分館、診療所を移転する。

問 町民参加型健康まつりとは

答 「健康がいちばん」をキャッチフレーズに

問 町民参加型健康まつりについて

①百歳への挑戦の評価と関連は。

②具体的な目標を示して取り組むべきである。

③福祉との連携は。

①トータルケアの町づくり、予防医療の政策などの推進により、町民一人あたりの医療費・国保税・平均寿命などが改善され、現在100歳以上のかたが11人いることもその成果である。

②これまでの総合的な健康づくりに加え、次世代を担う若者や子どもたちにも重点を置き、負担の大きい子育て世代への支援も推進していく。

③食と運動は健康維持、特に介護予防や認知症予防にも大きな関連がある。栄養バランスのとれた食生活の推進と運動習慣の継続を推進していく。



平成20年に開催された「百歳への挑戦パートIV」

長谷沼 清 吉議員

問 空き家対策は、条例を制定して取り組むべきである。

①空き家対策条例

近年、空き家対策条例

を制定する自治体が増えてきているが、今後の動向を見極めながら検討していく。

問 「接近警戒システム」の効果は

答 これから設置する

清野 佐 一議員



今年度に設置される接近警戒システム

問 昨年、経済常任委員会での管外行政調査報告の中で、先進地の取り組み事例として、動物の出没を感知する「接近警戒システム整備事業」について紹介をした。

本町においても、今年度到高目地区に設置するとのことで大きな期待を寄せていたが、その効果はどうであったか。更なる設置の見通しを伺う。

「接近警戒システム」の設置は国との協議が必要だったため、まだ設置はしていない。今後、速やかに工事を発注し、設置後に検証を行い、効果があれば他の地区にも導入を検討する。

問 生活環境づくり支援事業は、地域経済の活性化を目的に、住宅の改修等の工事費の半額を補助し、上限を15万円としたものである。

実質的な工事費は約3億円となり、補助金の一部を商品券にするなど商業に幅広く効果があったと思われる。今後、事業の効果や問題点を考慮した上で、再度実施してはどうか伺う。

本事業は23年度と24年度で実施し、これにより町内に活気が出るなど、経済効果は大きかったと認識している。今後は事業の効果や問題点を総合的に検証していきたい。

問 教育費の保護者負担の軽減を考えているか

答 各種大会の補助や準要保護制度の運用で

鈴木満子議員



教育費の保護者負担の軽減を

問 憲法26条で「義務教育費は、無償とする」と規定されているが、現状は教科書のみが無償であり、給食費や教材費等は保護者が負担している。これらの経費を半額補助できないものか。

町では、児童・生徒の学力調査に要する経費や各種大会等に出場する経費等への補助、家庭の経済状況に応じた準要保護

制度の運用などにより、保護者への負担を軽減するように努めている。給食費等、義務教育に必要な経費が無償となるよう関係機関と連携し、国に対し強く要望している。

問 あいづダストセンターに搬入される廃棄物のチェックはどこでするのか。

廃棄物の放射性濃度のチェック及びその証明書の添付は、「公害防止計画書」で規定されており、搬入業者が検査機関で放射性濃度を測定し、その証明書を搬入の際に提出することになっている。また「公害防止協定書」の規定では、本町と柳津町の職員が必要に応じて立ち入り検査ができるようになっている。

## 第6回議会臨時会報告

8月8日に第6回議会臨時会を開会し、町から一般会計補正予算（第3次）、町道野沢柴崎線道路改築工事請負契約の締結、そして消防ポンプ車の取得の3件の議案が提出され、審議の結果、いずれも原案のとおり全会一致で可決しました。

### ■一般会計補正予算

法人町民税で、納税確定額が予定納税額を下回ったことによる町税過徴納付金の計上と、7月はじめに発生した豪雨災害の査定用の測量設計委託料、合わせて300万円を増額しました。

#### 【質疑】

長谷沼清吉議員

①法人町民税の還付金の要因は。

②豪雨災害の状況は。

①今回の補正予算で還付金を計上している企業は、製造業の1社と建設業の2社であり、予定納税よりも確定納税額が、景気の動向により下回ったためである。

#### 【質疑】

②今回の災害は、松峯、井谷、宮野、小綱木の4カ所であり、いずれも田

が崩れ、その下の排水路が埋没したものである。

### ■工事請負契約の締結

町縦貫道路の町道部分である、町道野沢柴崎線の橋屋自治区先から戸中自治区手前までの延長772メートル、幅員6メートルの道路改築工事の請負契約の締結です。

#### 【質疑】

長谷沼清吉議員

①橋屋遺跡の発掘調査は、工事には影響ないか。

②本工事には、舗装工事も含まれているのか。

①橋屋遺跡発掘調査の現地調査は、8月いっぱい程度で終了したいと考えており、工事に影響はない。

②舗装工事は本工事に含まれている。

### ■財産の取得

町消防団第5分団第4部の飯里班に配備している、平成2年購入の消防ポンプ車を更新するものです。

#### 【質疑】

清野佐一議員

近年配備した消防ポンプ車と、装備内容に変更はあるのか。

平成17年に配備した第4分団の消防ポンプ車と基本的には同様である。ただし、真空ポンプを1基から2基へ、また放水銃を設置するなど装備を充実している。

豊海清隆議員

下取り価格はあるか。

#### 【質疑】

下取りという形はとっとならず、全くの買取りである。

このコーナーでは、各方面で活躍されている町民の方々をインタビューを通して紹介します。

今回は、町教育委員会委員に任命された渡部眞理子さん(5町内)です。

—教育委員会委員に任命されたの抱負は。

お話をいただいて戸惑いもありましたが、一町民として、また母親の立場からお役に立てることがあればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

—情報を発信する会では、パソコンなどを指導されていますが、ご自身がパソコンを始めたきっかけは。

友人からメールが来たときに、自分でメールを返信したり、パソコン操作ができるようになりた



いろいろな面で地域に貢献  
渡部眞理子さん

プロフィール

住所：5町内(野沢)  
年齢：53歳  
家族構成：母、夫の3人家族  
趣味：パソコン、お菓子づくり

—と思ったことです。

現在、情報を発信する会では、テレワークセンター2号館で相談会を行っていて、町民のかたとのふれあいの場となっています。

—ドルチェの会の活動について教えてください。

今年で6年目となるミセス12人のグループです。公民館の調理室をお借りして、お菓子づくりをしています。手作りの工夫を楽しみ、市販品では味わえない美味しさを実感したり、家族にも喜んで

もらえたり、生きがいづくりになっています。

—町議会や町に望むことは。

この町でも少子高齢化が問題ですが、子どもたちが元気に希望を持って成長し、大人は健康で楽しめる環境づくりに、さらに力を注いでいただきたいと思っています。

—ご協力ありがとうございました。今後のご活躍を期待しています。

議会の動き

会津耶麻町村議会議長会  
議員研修会を本町で開催

9月28日に交流物産館「よりっせ」で、会津耶麻町村議会議長会主催による議員研修会が開催されました。

講師に、石井浩興会津地方振興局長をお招きし、「会津に元気を——会津からはじめよう——」を演



石井浩興局長の講演

題として、県下の人口動態からはじまり、昭和村での実体験などを交えながら、会津一円としての復興についての講演をいただきました。

参加した議員は、現実を直視しているテーマなので、とりわけ真剣に聴講していました。

また、交流会の際もなお、石井振興局長に質問や相談をする議員が多く、大変積極的で盛会のうちに終了しました。

今後、本町も「会津一円の復興」について、しっかりとした基本理念を示した中で、今以上に積極的に取り組まなければならぬと感じました。

編集後記

9月30日に「町交通安全全町民大会」が、台風通過を前に盛会に行われしました。改めて交通事故と命、そしてその命を取り巻く人々について考えさせられました。普段どうしても自動車を運転していて、時間と場所だけが頭の中を占領してしまします。やはり適時に啓蒙されないと意識が曖昧になりがちですね。深夜に台風17号が、駆け足で大きな混乱もなく通過したようで安心しました。

さて、本町もクマ、サル、全袋検査など混乱しやすい問題を抱えつつ、本格的な収穫期になったところですが、ここに9月定例議会を報告いたします。

(三留正義)

編集委員

委員長 鈴木満子

副 渡部 憲

委員 三留正義

猪俣常三

清野佐一